

# 行財政改革の成果を公表

## 市民のための市政・効率的な行政運営を目指し、行財政改革を進めています

現在の社会情勢は、長引く景気の低迷から早期の景気回復は見込めない状況です。市政も市税収入は毎年減少し、今後も大幅な伸びは期待できない厳しい財政状況が続いています。そこで、市では平成11年2月に「財政非常事態宣言」をし、8月には、「第2次行財政改革大綱」を策定しました（対象期間は平成11年度～20年度）。広報今号では、平成14年度から現在までの実施結果と今後の取り組みをお知らせします。

問合せ先 企画部行革担当

### 第2次行財政改革の実施結果 (平成14年度～現在の取り組み)

市は平成11年に策定された「第2次行財政改革大綱」に基づき、財政健全化に向け全庁を挙げて行財政改革に取り組んできました。引き続き継続して取り組むべき課題や、新しい社会環境の変化に対応していく課題

#### 1 職員給与及び定数の見直し等

給料体系の変更・さらなる給料の減額で人件費を削減  
・期末手当0.27カ月を削減、

●過去10年間の人件費及び職員数の推移



平成14年度は東京都人事委員会と同様に給料の1.6%を、平成15年度は0.8%を削減し、市独自に給料の一律2%削減を平成15年度～16年度の2年間実施(26人中唯一) 特別昇給(27歳特昇・成績特昇)の一部廃止 平成15年度から住居手当及び扶養手当の削減 勤奨退職制度の見直し 職員39人を削減 (内は削減人数)

#### 2 民間委託の推進

各業務の民間委託化を実施し、人員を削減 (内は削減人数) 平成15年度から二・三中の給食業務を委託(6人) 平成16年度は3校を委託予定 平成16年度は3校を委託予定 電話交換業務の委託(4人) 給食業務(12人)、用務(2人)、看護助手(2人)の委託

#### 4 補助金交付金

各種補助金交付金を見直し、経費削減(53件) 土地開発公社利子補助金は、償還期限がきた長期借入金金利の低い短期借入金に借り換え、短期借入金は複数の金融機関による入札を実施し、利率を見直し、利子負担の軽減を図り補助金を削減

#### 5 組織の見直し

効率的な事務事業を行える組織へ 平成16年4月から9947課体制を8042課体制にし、組織をスリム化

#### 6 市民サービスの向上

新・市立病院を院際 患者さんの増加や医療需要の多様化にこたえられるよう、平成14年6月に市立病院が生まれ変わりました。病床数300床、診療科目16科の地域の中核病院として、患者さんの視点に立った医療サービスを提供していきます。



「選ばれた病院」を目指します

入札・契約手続きの改善 落札率の低下による契約額の低減 業務サポートチーム制度の創設 福祉給付事業(健康管理手当・理美容券)の見直し

公立病院経営健全化計画の推進 病床利用率90%を目指し、収益アップに努め、「市民に信頼され、選ばれる病院」病院経営の健全化を目指します。

ごみ減量に向けたさらなるごみ改革の推進 マイバッグ運動の実施 減量市民懇談会の実施 減量市民懇談会の実施

市有地の公売・土地開発公社の経営健全化 遊休地の貸し付け、不用財産(長期活用のない土地など)の計画的処分を行い、土地開発公社経営健全化計画の推進と財源確保を図りました。

#### 7 財源の確保

市有地の公売・土地開発公社の経営健全化 遊休地の貸し付け、不用財産(長期活用のない土地など)の計画的処分を行い、土地開発公社経営健全化計画の推進と財源確保を図りました。

市立病院経営健全化計画の取り組み 子育て支援の推進 福祉事業団による管理運営方式の見直し

### 今後の行財政改革の取り組み

平成15年度・16年度の主な取り組み 日野いいプラン2010や電算化総合計画等の具体的推進

今まで取り組んできた行財政改革の中では、職員定数の削減、財源の確保などにその効果が表れてきています。

### 夢のあるまちづくりに向けて

「待機児童ゼロ、寝たきりゼロ、子育て・子育て不安ゼロ」の「3つの夢」を基本理念に、諸施策を推進していきます。

Table with 2 columns: Category (職員給与及び定数の見直し等により, 財源の確保等により, 事務事業の見直し等により) and Amount (5億7,789万円を削減, etc.).

土曜庁舎実施 市民皆さんの利便を図るため平成14年11月から一部の窓口を開き、住民票の写しや税証明書の交付などの業務を実施

電算システムを整備 平成15年8月25日から住民基本台帳ネットワークシステム第2次稼働となり、住民基本台帳カードの交付が開始